

令和5年度日野町少年センターの活動報告

(令和5年4月～令和6年3月)

○街頭補導

- (1) 青少年の非行を未然に防ぎ、早期に発見・指導するために、少年補導(委)員と日野警部交番、少年センター職員が合同で青色パトロール車による巡回指導を43回延べ160人で実施した。
また、小学校下校時の通学路で「愛の声かけとマナーの呼びかけ」のパトロールを少年センター職員が延べ45回実施した。
- (2) 思いやりの心を醸成し、豊かな人間関係を育むことを目的に、保護司会、更生保護女性会、主任児童委員、民生委員・児童委員、少年補導(委)員会が合同で、「朝のあいさつ運動」を中学校校門前で毎週火曜日に32回延べ132人で実施した。また少年補導(委)員の協力を得て各小学校であいさつ運動の普及に努めた。
- (3) 夏、秋に開催された氏郷まつりで、少年補導(委)員会と合同でパトロールを実施した。

○環境浄化活動

- (1) 少年の健全育成を阻害すると認められる有害図書等を取り扱う書店、コンビニ店舗等に対して、毎月2回の立入調査を実施した。
- (2) 刃物取扱店および量販店(8店舗)について、条例確認の有無や年齢確認の状況などについての調査を行った。
- (3) 小学校6年生を対象とした薬物乱用防止教室を東近江警察署、日野ライオンズクラブの協力を得て、町内5小学校で実施した。また日野中学校、日野高校でも実施した。

○広報啓発活動

- (1) 非行防止の取り組みや子育て支援情報、少年補導(委)員の活動状況等の記事を掲載した「少年センターだより」を年4回発行し自治会を通じて全戸配布した。
- (2) 小学生に向けてのメッセージ掲載した「青パトだより」を、少年(補)導委員と合同で年3回発行し、小学校で掲示を依頼した。
- (3) 中学校校舎玄関に「中学生応援メッセージポスター」を15回掲示し、学校生活を応援した。
- (4) 氏郷まつり「楽市・楽座」2023に参加し、少年補導(委)員会と合同で薬物乱用防止や非行防止の啓発を行った。また各公民館やわたむきホール虹で開催された文化祭や町立図書館でも実施した。
- (5) 少年補導(委)員が作成したペープサートを活用して町内の保育園、子ども園、幼稚園(5園)で防犯教室を実施した。
- (6) 7月の青少年非行被害防止滋賀県強調月間にフレンドマート日野店で啓発活動を行った。また、11月の滋賀県子ども若者育成支援推進強調月間では、日野高校、青少年育成町民会議、警察署と合同で啓発を行った。

○相談活動

総相談件数は来所、電話相談を含め延べ64回(20人)であった。

- (1)小学生からは不登校の相談があり、適応指導教室ステップへとつないでいった。
- (2)中学生の相談については、学校へ行きにくい、不登校の状態であるがどうしたらいいか等の相談があった。
- (3)高校生については、友だち関係がうまくいかず一人ぼっちになってしまい、学校に居場所がない等の相談やアルバイトの事、高校卒業後の仕事について等の相談があった。
- (4)就労相談については、体調が優れず仕事を休職したが、自分の体力にあった仕事に就きたいという相談や、仕事する事に自信はないけれど、働いてお金を稼ぎたいという相談があった。

○適応指導教室の運営

- (1)日野町教育委員会が設置するサポートスクール「ステップ」の運営を行い、不登校児童・生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充等で、学校復帰を支援した。

登録来所者は8人で、毎日の来所や定まった日時に来所するのが困難な生徒もあり、子どもたちにタイミングに合わせながら粘り強く指導を行った。

また保護者との懇談や学校関係者との連携にも努めた。

○子どもの学習支援事業

- (1)家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていなかったりする中学生等の学習意欲の向上や健全な成長を促すため、子どもの学習支援事業「IPPO(いっぽ)」を、教育部局と福祉部局の協力をいただき一体となって実施した。実施にあたっては町内に在住する大学生等ボランティア(24人)の協力を得て、87回実施し、延べ484人の中学生と29人の高校生の等の参加があった。

また、放課後に気楽に立ち寄り学習できる場として、立ち寄り学習処「ちょき」を、99回開設し、基礎学力の向上を支援した。

○高等学校等訪問

- (1)中学校卒業後の生徒の状況を把握するため、福祉部局と合同で日野高校をはじめ、東近江市、甲賀市、草津市、大津市、近江八幡市などの高等学校等を訪問し、日野町内より通学している生徒の在籍状況等を聴き取った。

○関係機関との連携

- (1)滋賀県青少年補導センター連絡協議会、滋賀県青少年育成県民会議、日野町青少年育成町民会議、日野町防犯自治会をはじめとして、関係機関主催の会議、研修会等の行事に参加した。

令和5年度少年センター活動状況

(令和5年4月～令和6年3月)

○街頭補導・パトロール

補導委員街頭補導	43回	延べ160人
街頭啓発	4回	延べ66人
小学校区パトロール	45回	延べ85人
朝のあいさつ運動	中学校 32回	延べ132人

○啓発活動

少年センターだより(新聞折り込み)	4回	自治会経由で全戸配布
中学校応援メッセージ	15回	
青少年非行・被害防止強調月間での街頭啓発		
氏郷まつり“楽市・楽座”2023で薬物乱用防止啓発		
町内文化祭、わたむきホール虹、図書館で啓発		
子ども・若者育成支援強調月間で街頭啓発		
青パトだよりによる小学生への啓発		
ホームページ		

○相談業務

相談対象

小学生	延べ5回	(3人)
中学生	延べ6回	(3人)
高校生	延べ21回	(5人)
無職少年	延べ29回	(7人)
有職少年	延べ2回	(1人)
その他学生	延べ1回	(1人)

相談した人

本人	51回	家庭	3回	学校	2回	他機関	8回
面接	58回	メール	3回	電話	3回		

総相談合計

延べ 64回

○適応指導教室ステップ

来所回数	延べ290回	(196日)
小学生・中学生	延べ290人	(8人)
保護者懇談会	12回	
学校連絡会議	19回	

○子どもの学習支援事業 IPP0

開催回数	87回	
中学生参加人数	延べ484人	(12人)
大学生等ボランティア	延べ460人	(24人)
高校在籍者、高校を目指す者	延べ29人	(3人)

○放課後立ち寄り学習

延べ450人 (99回)